

個別医療機関ごとの具体的な対応方針 に係る調査結果について

～ 2025年に担う役割と機能別病床～

国から求められている議題と対応について

「地域医療構想の進め方について」（平成30年2月7日医政地発0207第1号）抜粋

地域医療構想の達成に向けて、「個別の病院名や転換する病床数等の具体的な対応方針の速やかな策定に向けて、2年間程度で集中的な検討を促進する」とこととされていることを踏まえ、**都道府県においては、毎年度この具体的な対応方針をとりまとめること。**

この具体的な対応方針のとりまとめには、地域医療構想調整会議において、平成37(2025)年における役割・医療機能ごとの病床数について**合意を得た**全ての医療機関の

- ① 平成37(2025)年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割
- ② 平成37(2025)年に持つべき医療機能ごとの病床数

を含むものとする。

なお、**平成30年度以降の地域医療介護総合確保基金の配分に当たっては、各都道府県における具体的な対応方針のとりまとめの進捗状況についても考慮することとする。**

御協力いただいた調査内容

個別医療機関ごとの 具体的な対応方針に関すること

- 2025年を見据えた役割(5疾病5事業及び在宅医療等)
- 2025年における病床機能（予定）
- 2025年に向けた施設設備に当たる補助金の活用予定
- 過剰な病床機能への転換理由等(該当医療機関のみ)

病床がすべて稼働して いない病棟に関すること

- 稼働していない理由
- 非稼働病棟の今後の運用見通しに関する計画

その他（会議での報告なし）

- 地域医療に係る課題や地域で検討したい課題

本調査の位置づけについて

- 地域医療構想達成に向けて過剰とされている病床機能への転換や増床が、直ちに否とされるものではない。
- あくまで現時点で考えられる役割・機能であり、2025年に向けて地域の実情に応じて随時見直されることも想定している。



地域において協議し合いながら合意を得ていくことが重要

本会議において、取りまとめた調査結果を資料等により提示し協議し合ったことで、地域医療構想調整会議にて、

「2025年における役割・医療機能ごとの病床数について合意を得た」

ものとして国に報告し、求められている議題への対応とする。

平成30年度以降の地域医療介護総合確保基金の配分に当たり、各都道府県における具体的対応方針のとりまとめの進捗状況 についても国から考慮される。

調査結果概要①

～ 2025年に担う役割と機能別病床～

- 県内で調査対象とした427医療機関（一般病床又は療養病床を有する病院・診療所）のうち、416箇所から回答を得た（回答率97.4%）。
- 本圏域の回答率は93.6%であった。

【集計結果一覧】 ※下表「2017」欄はH29年度病床機能報告の結果、「2018」及び「2025」欄は本調査結果の集計数を計上している（廃止・休業を除く）

	調査依頼 医療機関数			回答率 (%)			役割・機能別病床								休棟等		移行 予定		
							高度急性期		急性期		回復期		慢性期					計	
	病院	有床診	有床診	2018	2025	2018	2025	2018	2025	2018	2025	2018	2025	2018	2025	2025			
千葉	76	41	35	93.4	90.2	97.1	1,073	1,076	3,974	3,944	978	1,098	1,622	1,637	7,647	7,755	197	91	100
東葛南部	91	51	40	98.9	100	97.5	1,796	1,844	5,588	5,614	1,739	1,984	2,127	1,827	11,250	11,269	290	59	360
東葛北部	78	51	27	100	100	100	2,008	2,096	4,773	4,881	1,135	1,330	1,904	2,030	9,820	10,337	48	45	0
印旛	47	27	20	93.6	96.3	90.0	1,168	1,150	2,313	2,415	547	484	1,445	1,501	5,473	5,550	334	9	0
香取海匝	27	18	9	96.3	94.4	100	64	64	1,698	1,627	169	241	822	662	2,753	2,594	148	80	148
山武長生夷隅	36	22	14	100	100	100	20	20	1,534	1,622	412	432	1,293	1,240	3,259	3,314	197	70	48
安房	25	14	11	100	100	100	152	152	1,198	1,133	99	176	717	647	2,166	2,108	46	25	60
君津	28	18	10	96.4	94.4	100	492	492	981	1,002	191	191	847	826	2,511	2,511	2	0	0
市原	19	11	8	100	100	100	100	100	1,404	1,434	391	357	216	216	2,111	2,107	64	61	0
計	427	253	174	97.4	97.2	97.7	6,873	6,994	23,463	23,672	5,661	6,293	10,993	10,586	46,990	47,545	1,326	440	716

「2018」欄に含まれない病床数(本調査未回答等)：千葉380 東葛南部39 印旛240 香取海匝233 安房9 君津65

「2025」欄に含まれない病床数(本調査未回答等+未開設医療機関)：千葉771 東葛南部720 東葛北部617 印旛1,062 香取海匝233 山武長生夷隅19 安房28 君津67

調査結果概要②

～2025年における病床機能転換等予定～

○ 過剰とされている病床への増床を予定している医療機関は、県内で48（病院39・診療所9）箇所だった。

- 印旛圏域では、47医療機関のうち11箇所から、過剰とされる機能（高度急性期、急性期、慢性期病床）の増床を予定しているとの報告があった。
- 過剰病床への転換理由は以下のようなものが挙げられた。
 - ① 現段階で休棟(床)している病床の再稼働
 - ② 近隣の急性期病院からの受入要請に対する対応
 - ③ 周産期医療等に対応するための増床

調査結果概要③

～病床が全て稼働していない病棟について～

○ 報告の時点で病床が全て稼働していない病棟がある医療機関は、県内で65（病院40・診療所25）箇所だった。

- 印旛圏域では、47医療機関のうち、9箇所（病院8・診療所1）において、病床が全て稼働していない病棟があると報告された。
- 9箇所のうち、7箇所が再稼働予定、1箇所が廃止予定、1箇所が未定と報告された。

2025年に担う役割と機能別病床

【印 医療保健医療圏】

No.	医療機関名	2025年に担う役割(予定を含む)										2018年と2025年の機能別病床数						備考	移行 予定	補助 金 活用 予定							
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他	補足	急性期		回復期					慢性期		計				
														2018	2025	2018	2025				2018	2025		2018	2025		
【診療所】																											
28	医療法人社団愛弘会みらいクリニック																	19	19								
29	医療法人社団宝樹会森川産婦人科クリニック	○																									
30	医療法人社団 そうクリニック																										
31	医療法人社団 千陽会さくらクリニック																										
32	医療法人社団 神豊会潤生堂医院	○	○	○																							
33	医療法人社団 仁香会ウインド・ミルクリニック	○																									
34	たて産婦人科佐倉分院																										
35	医療法人社団 芽ばえの会春成祥子クリニック																										
36	医療法人社団 陽政会長岡産婦人科クリニック																										
37	医療法人社団 陽政会・エス長岡																										
38	医療法人社団 誠仁会みはま佐倉クリニック																										
39	医療法人社団 爽愛会小林循環器クリニック																										
40	医療法人社団 工藤外科内科	○	○																								
41	いしいクリニック																										
42	岩沢クリニック																										
43	医療法人社団 誠仁会みはま成田クリニック	○	○																								
44	医療法人社団 美修会松岸クリニック																										
45	医療法人社団 鴻志会日吉台レディースクリニック																										
46	医療法人社団 明生会東葉クリニック・ITK-ト泌尿器科																										
47	弓立産婦人科																										

注) 「補助金活用予定」欄については、回復期リハビリテーション病棟等整備事業(回復期リハ、地域包括ケアへの転換)又は地域中核医療機関整備促進事業(地域の中核となる公的医療機関等のみ対象)の活用を検討している(又は現在補助を受けている)医療機関に○をつけ
ています。

H29病床機能報告と必要病床数を比較し「過剰」となる機能を増床する場合の理由等

【印権保健医療圏】

No.	医療機関名	H29病床機能報告と2025年の方針の比較										理由	
		高度急性期 (過剰)		急性期 (過剰)		回復期 (不足)		慢性期 (過剰)		計			休棟等
		2017	2025	2017	2025	2017	2025	2017	2025	2017	2025		
【病院】													
1	成田赤十字病院	89	109	570	550					659	659		2018年4月にGCU病床20床の運用を開始したため。
2	聖隷佐倉市民病院		8	304	392					304	400	96	手術後で術後管理を必要とする患者など重症度の高い患者を、院内で集中的にケアするための病床を整備したい。あわせて、急性期の患者に対して、病態の安定化に向けた医療体制の拡充を図りたい。
3	医療法人それいゆ会四街道さくら病院			12				87	95	99	95		2018年4月1日に一般病棟12床を返床し療養病棟(療養1)95床に変更した。
4	医療法人徳洲会大日徳洲会病院			64	64			58		64	122	58	現在、休床中の療養病棟を改築工事が終了後、再稼働する予定です。
5	医療法人三矢会八街総合病院			120	60		40	31	91	191	191		近年、看護師不足により、一般病床の施設基準を満たすにあたり、非常に厳しい状況であり、また、近隣の急性期病院から慢性期患者の受け入れ要請が多いため
6	医療法人社団千葉光徳会中沢病院						41	267	270	267	311	44	2019年12月に新築移転を予定 休棟分44床のうち、病棟編成のため、回復期リハビリテーション病棟を41床で予定。 残り3床分は慢性期病棟予定。

H29病床機能報告と必要病床数を比較し「過剰」となる機能を増床する場合の理由等

【印権保健医療圏】

No.	医療機関名	H29病床機能報告と2025年の方針の比較										休棟等 2017 : 2025	理由	
		高度急性期 (過剰)	急性期 (過剰)	回復期 (不足)	慢性期 (過剰)	計		計		計				
		2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025	2017 : 2025			
【診療所】														
7	医療法人社団愛弘会みらいウイ メンスクリニック		19	19			19	19						H29年度を回復期として誤って報告してしまいました。実際は、急性期でした。大変申し訳ございませんでした。
8	医療法人社団仁香会ウインド・ミ ルクリニック		19				19	19			19			理由欄の記載なし
9	たて産婦人科佐倉分院		5	2		2	4	5			1			理由欄の記載なし
10	医療法人社団誠仁会みはま成 田クリニック		18			18	18	18						透析患者の合併症の治療には透析ができる設備が必要であり、入院理由として療養目的より疾患治療目的の入院が大半を占めるなか、今後も同様な機能を維持していくためには急性期機能を担っていく必要があると判断したため。
11	医療法人社団明生会東葉クリニック カ・I7ホート泌尿器科		19			19	19	19						長期にわたり療養が必要な重度の障害者(透析患者)入院の為、慢性期を確保したい

注) 各機能の過剰・不足は、平成29年度病床機能報告の集計値と2025年の必要病床数の単純比較であり、増床理由確認の目安としている。

「2017」欄は平成29年度病床機能報告の結果を、「2025」欄は各医療機関の2025年の見込み数を記載している。

機能転換、増床、再稼働の別によらず、「過剰」となる機能の病床数を増やす方針の医療機関を掲載している。

非稼働病棟（2018年7月1日時点）の今後の見通し等

【印旛保健医療圏】

No.	医療機関名	該当病棟数	病棟の病棟数	今後の見込み	(対応方針未定の項目については空欄)			理由	
					対応予定時期	病床機能	入院基本料 診療科		
【病院】									
1	独立行政法人国立病院機構下志津病院	1	16	再稼働		回復期	地域包括ケア	整形外科・リウマチ科・神経内科	病床の面積が足りなため34床で運営しているが、建て替え時に解消の予定
2	聖隷佐倉市民病院	3	54	再稼働	2019年10月	急性期	急性期一般2		2004年に国からの委譲を受けた後に400床の病床を許可され、現在は304床(7病棟)で稼働し、96床が非稼働病床となっています。新病棟完成後の2019年10月には358床(9病棟)の稼働を予定し、2023年までには400床稼働を見込んでいます。
			8	再稼働	2021年4月	高度急性期	ICU		
			34	再稼働	2023年4月	急性期	急性期一般2		
3	医療法人徳洲会大日徳洲会病院	1	58	再稼働	2019年4月	慢性期	療養病棟	内科	施設の老朽化による、付帯設備の故障のため。
4	医療法人沖繩徳洲会四街道徳洲会病院	2	33	再稼働	2018年11月	急性期	急性期一般4	整形外科、泌尿器科	看護師不足
			36	再稼働	2019年6月	急性期	急性期一般4		
5	医療法人三矢会八街総合病院	1	1	再稼働	2018年8月	急性期	地域一般1	内科・外科・耳鼻科	看護師不足のため一時的な措置で行いました
6	医療法人社団樹々会日吉台病院	1	6	廃止	2023年4月				非稼働の病床を廃止し、別用途で運用を検討中。工事日程等もまだ検討段階である。
7	医療法人社団千葉光徳会中沢病院	1	1	再稼働	2019年12月	回復期	回復期リハビリ		人員不足
8	医療法人徳洲会成田高里徳洲会病院(1病棟を順次再稼働中)	1	24	再稼働	2018年11月	急性期	急性期一般4	総合診療科	-
			18	再稼働	2019年9月	急性期	急性期一般4		
【診療所】									
9	いしいクリニック	1	9	未定					現在、分娩の取扱いを中止しており休床中である